2023 年度 事業報告書



はじめに

本学は、1927年(昭和2年9月)に、我が国初のエックス線技師の養成機関として「島津レントゲン技術講習所」を設立しました。以来、一貫して変わらぬ建学の精神のもと、時代の要求に沿う高度な技術を修得した診療放射線技師を輩出するべく、診療エックス線技師制度の変遷に対応しながら、専修学校、専門学校、短期大学と技師教育一筋に歩みを進めて参りました。このような歴史を継承し、社会の要請する、より高度な医療技術者を輩出するために、2007年(平成19年4月)に4年制大学である京都医療科学大学へ改組しました。

18 歳人口の減少とともに私立大学を取り巻く厳しい環境の中、①放射線技術学科の深耕、内容の充実 ②医療専門職にふさわしい学士力の醸成と品性の確保 ③教育・研究環境の充実 ④法人・教学の健全な管理運営の維持 を基本方針として教育活動を展開しました。

ついては、2023年度事業報告書を作成しましたので、以下のとおりご報告します。

学園の概要

1) 建学の精神

品性を陶冶し有為の技術者を養成するを以て目的とす。



教育理念

医療科学に関する高度の知識及び科学技術について教育・研究するとともに、品性 を陶冶し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成する。

教育目的

京都医療科学大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療科学に関する高度の知識及び技術について教育・研究するとともに、品性を陶冶し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成することを目的とします。

2) 京都医療科学大学3つのポリシー

(ア) 入学者受入方針(アドミッションポリシー)

京都医療科学大学では、建学の精神に沿って次のような人物を求めている。

- ① 医療科学における高度先端知識の修得に意欲を持つ人物
- ② 常に問題意識を持ち、課題解決に向けて思考し、理解しようという意欲を持つ人物
- ③ 多種多様な医療の職場環境において、常に明るく、協調性と積極性に富み、柔軟に対応できる素養のある人物

④ 診療放射線技師として、将来、社会貢献したいという意欲を持つ人物

求める能力

- ・ 基礎的な数学能力
- ・ 基礎的な国語能力
- ・ 基礎的な英語能力

(イ) 教育課程方針(カリキュラムポリシー)

京都医療科学大学では、ディプロマポリシーに要求される能力を修得するため、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目、総合科目に区分し、以下の方針でカリキュラムを編成する。

- ① 教養教育科目では、社会における医療人としての幅広い人間性を形成するため、高等学校で学んだ基礎知識をさらに深める。また、科学的思考の基盤となる数学や物理学、生物学等を初年次に学び、科学技術の進展等に対応し得る統合された知の基盤を獲得するための科学的思考を養い、専門基礎科目への導入をはかる。さらに、生活の基盤 及び人間に対する理解を深めるための科目を配置し、グローバル社会でチーム医療の一員として活躍するためのコミュニケーション能力を養う科目等を配置する。
- ② 専門基礎科目は、専門的知識や技術を学修するための基礎となる科目群であり、思考力、判断力を養い、進歩の著しい放射線技術学の実践応用に対応できる基礎知識を修得するため、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 及び 理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術 を学ぶ科目等を配置する。
- ③ 専門科目では、実践を支える専門的知識・技術を確実に修得する科目として、診療画像技術学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医用画像情報学、放射線安全管理学、医療安全管理学等の科目群を配置する。さらに、学内の最新医療機器を用いた実験実習科目では、進歩の著しい放射線技術学分野の知識を確実にし、発展させ、学生自らが探求し、応用する能力を養う。
- ④ 総合科目では、これまでの学修の集大成として総合研究及び 総合演習を実施する。総合研究では、学生の主体的な研究を通して、研究テーマの決定、問題解決能力、研究計画の立案能力、論文作成能力を体得する。総合演習では、専門基礎科目、専門科目で学修した内容について、知識・技術を総合的に整理して臨床現場で迅速に対応できる応用能力を身につける。また、学外での臨床実習を通して、臨床現場で役立つ診療放射線技師としての能力を養う。

(ウ) 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

京都医療科学大学の建学の精神により、以下のような能力を身につけ、かつ本学の学則に定める卒業に必要なすべての授業科目の単位を修得した者について、卒業を認定し学位を授与する。

- ① 品性を陶冶し、チーム医療の一員としてコミュニケーション能力と幅広い一般教養を兼ね備えている。
- ② 医療技術に関する専門的知識 及び 基礎となる知識を十分に修得している。
- ③ 思考力、理解力を有し日々進歩する技術に自ら対応できる能力を備えている。
- ④ 医療技術で地域社会・グローバル社会に貢献するとともに、国民の保健医療の向上に寄与し、人類の健康への願いを実現する強い意欲を持っている。

3) 法人の沿革

昭和2年9月	(1927年)	島津レントゲン技術講習所創立(各種学校) 修業期間 6ヵ月 入学定員 20名
昭和6年10月	(1931年)	修業期間を9ヵ月に延長 入学定員を25名に増員
昭和 10 年 2 月	(1935年)	校名を「レントゲン技術専修学校」と改称 修学期間を1年に延長 入学定員を30名に増員
昭和 21 年 4 月	(1946年)	入学定員を 50 名に増員
昭和 27 年 4 月	(1952年)	修学期間を 2 年に延長 総定員を 100 名に増員
昭和 44 年 4 月	(1969年)	修学期間を3年に延長 総定員を150名に増員
昭和 45 年 4 月	(1970年)	校名を「京都放射線技術専門学校」と改称
昭和 52 年 11 月	(1977年)	学校法人「京都放射線学園」設立 各種学校を専修学校に変更
昭和 58 年 4 月	(1983年)	校名を「京都医療技術専門学校」と改称 法人名称を「京都島津医療技術学園」と改称
昭和62年2月	(1987年)	短期大学設立準備室を開設
昭和 63 年 12 月	(1988年)	「京都医療技術短期大学」の設置認可 京都府知事所轄から文部大臣所轄に組織変更認可
平成元年4月	(1989年)	「京都医療技術短期大学」開学
平成3年8月	(1991年)	「京都医療技術専門学校」を廃止 法人名称を「島津学園」と改称
平成 17 年 4 月	(2005年)	4年制大学開設準備室を設置
平成 18 年 4 月	(2006年)	「京都医療科学大学」設置認可申請
平成 18 年 11 月	(2006年)	「京都医療科学大学」設置認可

平成19年4月 (2007年) 「京都医療科学大学」開学

平成23年10月 (2011年) 「京都医療技術短期大学」廃止

4) 設置する学校・学部・学科等

2023年4月1日現在

設置する学校	学部	学科	修学年限
京都医療科学大学(平成19年4月開学)	医療科学部	放射線技術学科	4年

5) 定員等

2023年5月1日現在 単位(名)

入学定員	収容定員	現員数
80	320	379

6) 学生数の状況

2023年5月1日現在 単位(名)

		·	
学年	男子	女子	計
1年	53	41	94
2年	44	56	100
3年	48	47	95
4年	40	50	90
合計	185	194	379

7) 入試の状況

2024 年入試状況 単位(名)

志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
218	215	108	84

8) 国家試験の状況

2024年3月末合格状況 単位(名)

卒業者【学位授与】数	国家試験受験者数	国家試験合格者数
82	79	78

9) 就職状況

2024年5月1日現在 単位(名)

大学院進学	国公大付属	私立大附属	国公立病院	公的施設	私立病院 企業附属	検診系/他
1	3	7	14	14	22	17

10) 教職員の概要

2024年3月31日現在 単位(名)

教員					専任職員
教授	教授 准教授 講師 助教 兼任教員				守仁啾貝
10	2	6	4	31	22

教員が有する学位

職位	学位	氏名	性別
学長/教授	博士 (医学)	玉木 長良	男
教授	博士(医学)	柴田 登志也	男
教授	博士(工学)	佐藤・敏幸	男
教授	博士(医学)	渡邊 祐司	男
教授	博士(工学)	森 正人	男
教授	博士(医学)	江本 豊	男
教授	博士(医学)	大野 和子	女
教授	博士(医学)	松尾 悟	男
教授	博士(保健学)	水田 正芳	男
教授	博士(工学)	澤田 晃	男
准教授	博士(工学)	田畑 慶人	男
准教授	博士(保健学)	松本 圭一	男
講師	修士(英語教授法)	山本 美津子	女
講師	学士(文学)	遠山 景子	女
講師	修士(工学)	赤澤 博之	男
講師	博士(文学)	青野 美幸	女
講師	修士(文学)	富髙 智成	男
講師	博士(保健学)	霜村 康平	男
助教	博士(薬学)	屋木 祐亮	男
助教	博士(保健学)	桑原 奈津美	女
助教	修士(応用情報学)	本谷 崇之	男
助教	博士(保健学)	石田 翔太	男

11) 学費

単位(円)

产生	1 年	1 年次		以降
学費	入学時	後期	前期	後期
入学金	250, 000	_	_	_
授業料	450,000	450, 000	450, 000	450, 000
施設設備費	175, 000	175, 000	175, 000	175, 000
実験実習料	145,000	175, 000	175, 000	175, 000
計	1, 020, 000	800,000	800, 000	800,000

12) 役員の概要

①役員

2024年3月31日

理事:定数8名 現員数8名			監事:定数2名	現員数2名	
役職		氏名	役職	氏名	
	理事長	上田 輝久	監事	髙橋 一浩	
	学長	玉木 長良	監事	藤井 浩之	
	常務理事	鈴木 英文			
TH #	外部理事	伏木 信次			
理事	外部理事	遠藤 啓吾			
	外部理事	阪原 晴海			
	外部理事	山田惠			
	外部理事	山本 靖則			

②評議員

評議員:定数17名	現員数 16 名		
上田 輝久*	鈴木 英文*	伏木 信次*	山田 惠*
山本 靖則*	溝脇 尚志	中本 裕士	錦 成郎
西谷 源展	神澤 良明	埜藤 眞純	藤田透
園木 清人	佐藤 敏幸	森 正人	大野 和子
	*は理事と兼任		

事業の概要

1) 中期計画【5年間:2023年度~2027年度】

建学の精神、教育理念、教育目的 のもと、2027年に迎える創立 100 周年に向けて、3 つのポリシーを具現化するため中期計画を策定する。

基本方針

- 1. 医療科学技術の進歩に対応できる人材を育成する。
- 2. 医療専門職にふさわしい学士力の醸成と品性の陶冶を目指す。
- 3. 教育研究環境を充実させる。
- 4. 豊かな人間性を持つ優れた人材を育成し医療の向上に寄与する。

事業環境

- 1. 大学入学志望者数が大学入学定員数を下回る「大学全入」時代が近いうちに到来
- 2. 私立大学の4割以上が定員割れ、3割以上が赤字経営
- 3. 増え続ける診療放射線技師養成施設(2022年度54校)

本学の現状

- 1. 総合入試、推薦入試併願の新設を始めとした入試改革、オープンキャンパス強 化など、入学志望者を確保するための施策に注力
- 2. 厳しい事業環境の中で、辛うじて大学経営に必要な入学志願者数を確保

目標

基本方針に則り2027年度(令和9年度)において達成する目標を次のように定める。

経営課題

- 1. 国家試験合格率 95%以上、就職率 100%を維持する。
- 2. 募集定員の3倍以上の実質総受験者数を確保する。

学生に関わる課題

- 1. 教育成果を踏まえて教育方法を改善し、学生の授業満足度をさらに高める。
- 2. 教育・学生支援体制の充実を図り、学生の生活満足度をさらに高める。
- 3. 双方向の国際交流を通じて、国際的な視野、ダイバーシティの尊重を身に付けさせる。
- 4. 環境配慮、サステナビリティを意識した日々の生活や行動を定着させる。

教職員に関わる課題

- 1) これまでの古い伝統を超えて、新しい時代に対応した教職協働を実践する。
- 2) DX、ICTの推進を念頭に、教育研究環境のさらなる充実を図る。
- 3) 科研費など外部資金の獲得に努め、研究面でも本学のプレゼンスを高める。
- 4) FD、SD活動を持続的に行い、教職員の質を向上させる。
- 5) 教職員の高い専門性や充実した保有設備と学生の若い力を生かし、社会や地域に 貢献する。
- 6) PDCA サイクルの実質化により、恒常的な内部質保証体制を確立する。

2) 2023 年度の事業概要

本学の教育について

本学では、高度化する医療の新しい時代を担う放射線技術者としての高い専門知識と研究心を養うことを目指し、授業を通じて段階的に理解していけるように第1学年から第4学年にわたって科目を配分している。

① 教養教育科目では、社会における医療人としての幅広い人間性を形成するため、高等学校で学んだ基礎知識をさらに深める。また、科学的思考の基盤となる数学や物理学、生物学等を初年次に学び、科学技術の進展等に対応し得る統合された知の基盤を獲得するための科学的思考を養い、専門基礎科目への導入をはかる。さらに、生活の基盤 及び人間に対する理解を深めるための科目を配置し、グローバル社会でチーム医療の一員として活躍するためのコミュニケーション能力を養う科目等を配置する。

区分			松木切口		単位数	¢		に必要 単位数
	分		授業科目	必	選	自	必	選択
				修	択	由	修	送扒
		基礎数学				1		
	扒 兴	数学		1				
	科学	物理学		1				
****	的思	化学		1				2
教養教育	基盤	コンピュータ学	:	1			1.1	2 単位以上
教育	左 盆	コンピュータ演	· 習			1	11	以以
作日		情報処理学		1				上
人間と生	人間		文章表現の方法	1				
	人文科学	コミュニケーション論	1					
	活		現代社会と倫理		1			

		心理学入門		1		
		日本文学を読む		1		
		社会と医療		1		
	社会科学	健康な生活と医療の法		1		
		時事問題から学ぶ日本経済		1		
		英語	1			
		医療英語	1		-	
		医療英語コミュニケーション	1			2
	外国語	英語コミュニケーション I		1		2 単位以上
		英語コミュニケーション Ⅱ		1		以以
		中国語入門		1		上
		中国語コミュニケーション		1		
初年次	に学ぶ大学でのス	スタディ・スキルズ	1			

② 専門基礎科目は、専門的知識や技術を学修するための基礎となる科目群であり、思考力、判断力を養い、進歩の著しい放射線技術学の実践応用に対応できる基礎知識を修得するため、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 及び 理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術 を学ぶ科目等を配置する。

E /\		授業科目		単位数			こ必要 ヹ数
	区分		必	選	自	必修	選択
			修	択	由	北市	送扒
		生命・医療倫理学	1				
		解剖学I	2				
		解剖学Ⅱ	2				専明
		解剖学特論			1		基
	人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち	細胞生物学	2				(税)
		生理学	2				目 及
± 111		臨床医学概論 I	2				専門基礎科目及び専門科目
専門		臨床医学概論Ⅱ	2			00	門
基礎		臨床医学概論Ⅲ	1			39	目目
科目		臨床心理学	2			-	の 中
		救急医学	1				から
		看護学概論	1				3
	旧唐屋房屋がしてよいよっ	プログラミング概論	2				から3単位以上
	保健医療福祉における	プログラミング演習		1			以上
	理工学的基礎並びに放射線の利学及び共振	応用数学	2				
	射線の科学及び技術	医用工学 I	2				

医用工学Ⅱ	2		
放射線物理学 I	2		
放射線物理学Ⅱ	2		
放射線生物学	2		
放射化学	2		
放射線計測学 I	2		
放射線計測学Ⅱ	2		
専門基礎科目実験	1		

③ 専門科目では、実践を支える専門的知識・技術を確実に修得する科目として、診療画像技術学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医用画像情報学、放射線安全管理学、医療安全管理学等の科目群を配置する。さらに、学内の最新医療機器を用いた実験実習科目では、進歩の著しい放射線技術学分野の知識を確実にし、発展させ、学生自らが探求し、応用する能力を養う。

区分		授業科目 -		単位数	ζ	卒業1	こ必要 【数
	<i>△刀</i>	1文未行口	必修	選択	自由	必修	選択
		診療放射線技術学概論	1				
		診療画像機器学 I	2				
		診療画像機器学Ⅱ	2				
		診療画像機器学Ⅲ	2				
		エックス線撮影技術学	2				車
		診療画像検査学 I	2				門
		診療画像検査学Ⅱ	2				専門基礎科目及び専門科目
	診療画像技術学	診療画像検査学Ⅲ	2				
		画像機器工学特論		1			
専門		臨床画像学 I	2				
等门 科目		臨床画像学Ⅱ	2			65	科
作日		画像診断技術学	1			-	\mathcal{O}
		診療画像解剖学演習		1			中か
		先端放射線技術学特論			1		から3単位以上
		専門科目実験 I	1				単位
		専門科目実験Ⅱ	1				以以
		専門科目実験Ⅲ	1			-	上
		専門科目実験IV	1				
		臨床核医学概論	2				
	核医学検査技術学	核医学検査技術学I	2				
		核医学検査技術学Ⅱ	2				

			1	
	放射線腫瘍学概論	2		
北色纳沙克社类	放射線治療技術学 I	2		
放射線治療技術学	放射線治療技術学Ⅱ	2		
	放射線治療技術学Ⅲ	1		
	医療情報学 I	2		
	医療情報学Ⅱ	2		
医用画像情報学	医療画像情報学	2		
	画像工学	2		
	画像工学特論		1	
北京区分子人然和兴	放射線安全管理学 I	2		
放射線安全管理学	放射線安全管理学Ⅱ	2		
医療安全管理学	医療安全管理学	2		
中以吃点来准 类	実践臨床画像学実習	1		
実践臨床画像学	実践臨床画像学	1		
	診療画像技術学臨床実習 I	2		
吹片	診療画像技術学臨床実習Ⅱ	6		
臨床実習	核医学検査技術学臨床実習	2		
	放射線治療技術学臨床実習	2		

④ 総合科目では、これまでの学修の集大成として総合研究及び 総合演習を実施する。総合研究では、学生の主体的な研究を通して、研究テーマの決定、問題解決能力、研究計画の立案能力、論文作成能力を体得する。総合演習では、専門基礎科目、専門科目で学修した内容について、知識・技術を総合的に整理して臨床現場で迅速に対応できる応用能力を身につける。また、学外での臨床実習を通して、臨床現場で役立つ診療放射線技師としての能力を養う。

				単位数	ζ	卒業な単	に必要 位数
	区分	授業科目	必	選	自	必	選択
				択	田	修	(20 1)(
総合		総合研究	2			C	
科目		総合演習	4			6	

卒業に必要な単位要件

授業科目の区分		卒業に	卒業に必要な履修単位数				
授業科目の区分		必修	選択	計			
教養教育科目	科学的思考の基盤	5	_	16			
教養教育科日	人間と生活	5	6	10			
専門基礎科目	人体の構造と機能および疾病の成り立ち	18					
号	保健医療福祉における理工学的基礎並 びに放射線の科学および技術	21					
	診療画像技術学・臨床画像学	24					
	核医学検査技術学	6					
	放射線治療技術学	7	3	110			
専門科目	医用画像情報学	8					
等[7] 件 日	放射線安全管理学	4					
	医療安全管理学	2					
	実践臨床画像学	2					
	臨床実習	12					
総合科目		6	_	6			
	合 計	(必	128 修121、選打	尺7)			

2023 年度の取り組み

① 島津奨学金のさらなる充実

株式会社島津製作所様のご寄付により創設した島津基金を活用した「島津奨学金」について、学生にとってより良い奨学金になるよう次のように見直した。

- 特待生奨学金の金額や対象人数を見直し。
- 資格取得奨励奨学金(資格取得奨励金)に、学内で実施する「ビジネス文書検定」 と「TOEIC IP テスト」を追加。
- 就職活動支援金を追加。
- 学外活動奨学金に、国際交流(増額) と 学会参加 を追加。
- 定期試験・国試学修支援を追加

(ア) 資格取得奨励奨学金(資格取得奨励金)

本学では、「就職に強い大学」として本資格試験に取り組んでおり、「島津奨学金」からビジネス文書検定の受験料を全額補助し、資格取得に向けた支援を実施している。全学で年間

延べ 162 名の学生が受験し、3 級に 95 名合格、2 級に 35 名が合格した。

その結果、財団法人実務技能検定協会において最も優秀な成績を修めた団体として、「文部科学大臣賞」を2年連続で受賞した。また、3月11日(月)アルカディア市ヶ谷で受賞者を対象に開催された祝賀パーティーには担当教員が参加し、栄誉を称えられた。



(イ) 就職活動支援金

近畿地区以外の地域で就職活動を希望する学生の交通費負担を軽減するため、就職活動支援金を創設し、2023年度は29件の申請があった。地方出身学生は希望施設の見学や受験に際し、交通費等の負担が大きいので、支援金は地方で就職を希望する学生の活動促進に繋がっている。

(ウ) 定期試験・国試学修支援の追加

定期試験や国家試験前に、夜遅くまで残って勉強する学生を支援するため、Shima's Kitchen 夕刻メニューを、50 円で提供した。利用する学生からは、食品が高騰する昨今において、50 円で夕食を食べられるのは大変ありがたい。大学に残って、しっかり勉強していきたいとの声が聞かれた。

(エ) 学会参加奨励金の創設

島津奨学金のさらなる充実の一つとして、学生の研究や学びの意欲向上、見聞を広げるなどの目的から、学会参加奨励金が創設された。その初年度となる 2023 年度は、計 26 名の学生が、国内、国外の学会問わず活発に参加した。

参加した学生からは、「普段の講義だけでは得られない知識や最先端の技術を目の当たりにし、自分が見ている世界の狭さを思い知った。今後は講義や教科書から学ぶことが全てであると思わず、自分で知識を深める努力をしていきたいと強く思った。」など、今後の学習や研究に対する意欲の向上に役立っている。参加した学会等は次の通りである。

開催日	参加学会	開催地 参加人数
2023年9月	欧州核医学会23	オーストリアウィーン 2名
	ENNA Manual Comments of the Co	
2023年9月	第 84 回応用物理学会秋季学術講演会	熊本市
	The state of the s	5名
2023年10月	第 51 回日本放射線技術学会秋季学術大会	名古屋市 2名
2024年3月	KIMES 2024 - Korea International Medical & Hospital Equipment Show 1015 대한 단한 등의 전한 등의 전	韓国ソウル 10名
2024年3月	日本薬学会第 144 年会	横浜市 5名

② 双方向の国際交流を通じて、国際的な視野、ダイバーシティの尊重を 身に付けさせることを目的に国際交流を強化

(ア) 立命館大学国際留学生との交流会の実施

本年度から1年生を対象に、英語でのコミュニケーションスキルと、国際感覚を培ってもらうことを目的とし留学生との交流会を実施した。

具体的には、立命館大学に協力いただき、 留学生を募集し22名(ベトナム6人、中国 3人、インドネシア2人、アメリカ2人、 イギリス、ドイツ、バングラディッシュ、 ウガンダ、モザンビーク、イタリア、ブー タン、ネパール、韓国)の学生が本学に来校し た。

当日は、留学生がファシリテータとなり、テーマに SDGs 関連トピックを提示し意見交換を行った。交流会では、相互の共通点や違いを体感し、同じ学生としての共感や親近感から異文化、多様性への気づきや理解を体感した。また対面交流である為、学生が自分の思いや意見を英語で伝えようと努力する姿が見受けられた。







本学には留学生が在学していないため、留学生のいない本学内にいわゆる「内なるグローバル化」を形成していくプロジェクトとして、次年度以降も引き続き、多くの学生に異文化を経験する機会を提供していく。

(イ) ベトナム フエ医科薬科大学 国際交流プログラムの実施

2019 年 8 月に国際交流などを目的に学術協定を調印したが、その後新型コロナウィルスにより実施できなかった。2023 年 3 月にベトナム研修を再開したことで相互での交流が実現した。 交流会実施に当たっては、2023 年にベトナムを訪問した 4 年生と 2024 年に訪問予定の 3 年生が協力し合い、学内施設の案内や、テーマを設けたディスカッション、あずまやでの B B Q を企画した。







(ウ) 台湾研修の再開

2023年8月20日から26日の日程に12名(3年3名、2年9名)が参加した。

新型コロナウィルスにより活動を停止していた台湾 元培医事科技大学での研修を5年ぶり に再会再開した。元培醫事科技大學は、本学卒業生が創設した台湾で初の診療放射線技師養 成校(現在は医療系の中規模大学)である。

現地では、元培醫事科技大學 6 名の学生がサポート役として参加し、両校の学生交流及び 台湾の医療機関見学、台湾観光など実施した。





(工) 新丘大学(韓国)学生来学

2023年12月19日 韓国 新丘大学から診療放射線技師を志す4名の学生が来校し研修を行った。本学の学長および教員が日韓の診療放射線技師教育における相違点を教授し、在学生との交流では、英語で学内施設の見学や日本の診療放射線技師学校との違いなど意見交換し交流した。





(オ) ベトナム研修

2024年2月25日から3月6日の日程に3年生12名の学生が参加した。

昨年から活動を再開したベトナム研修であったが、本年度は、玉木学長がチョーライ病院を表敬訪問した。前半は、チョーライ病院での研修、後半はベトナム南部のフエ市に移動し、フエ医科薬科大学の学生との交流を実施した。9月にフエ医科薬科大学学生2名と教員2名が本学を訪問し、5年越しで相互交流が実現した。

本研修は、事前準備から英語での発表を学び、文化交流の準備を通して団結力やチーム力を高める意味においても重要な機会である。今後も充実した研修として実施する。





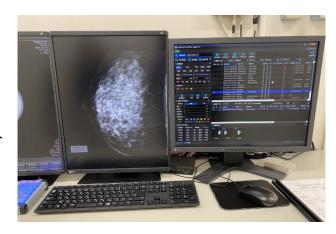




③ 教育研究環境の整備

マンモビューア

マンモグラフィ読影システム (ワークステーション) として、ネットカムシステムズ社「mammodite (マンモディーテ)」を導入。既設のマンモグラフィ装置 SEPIO (株式会社 島津製作所) や 2022 年 10 月に導入したマンモグラフィ装置 Pe・ru・ru LaPlus (キヤノンメディカルシステムズ株式会社) により撮影されたマンモグラフィ画像やディジタルブレストトモシンセシス



画像の観察が可能となり、在学中から最新の技術に触れる機会が得られる。

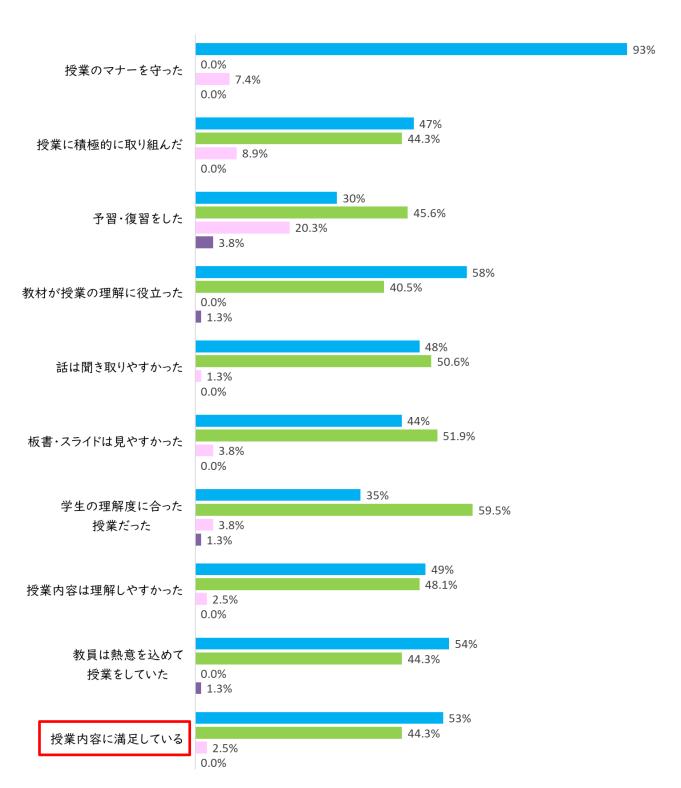
④ 本学の教育活動に対するアンケート調査の結果

アンケート対象者: 2023 年度 4 年生卒業時 79 名 回答数: 79 回答率: 100%

アンケート実施日:2024年2月16日

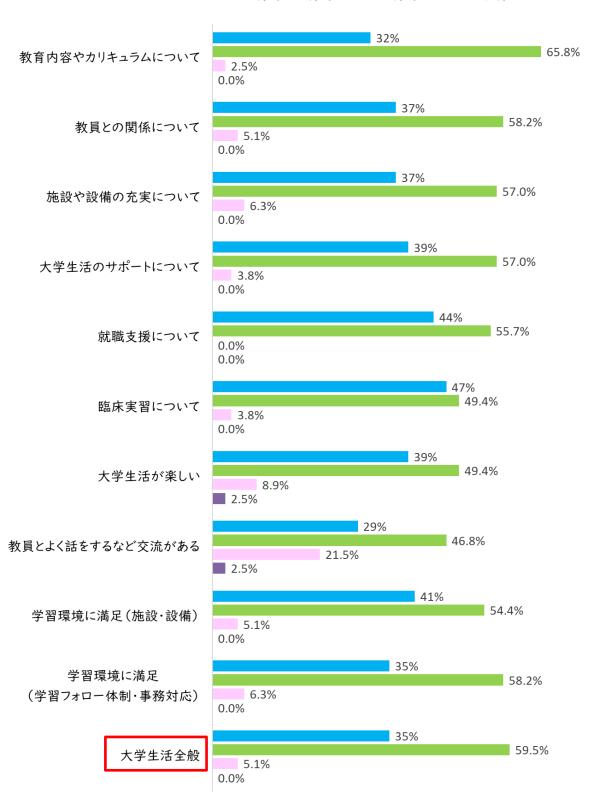
本学の授業に対する取り組みと満足度

■とてもあてはまる■あてはまる■あまりあてはまらない■全くあてはまらない



本学の教育活動に対する各項目への満足度

■とても満足 ■満足 ■あまり満足でない ■不満



2023年度の年間行事

初年次学生に対するチームビルディング【自己の探求】

始めて実際に顔を合わす仲間との交流のきっかけ作りの場と して、シミュレーションゲーム、外でのランチ、カードゲーム などを用いたイベントを実施した。その中でチーム内(組分けを3回)で 対話しながら課題を解いていく経験をする中で、お互い に打ち解けられるような一日を過ごすことが出来た。

2023年4月7日





2023 年度 京都医療科学大学 入学式を挙行

91 名の新入生が入学

2023年4月8日



学長杯スポーツ大会

コロナ対策として午前と午後に分かれて人数制限を行い「学長杯スポーツ大会」を開催。初夏のような天候の中、多くの参加学生がスポーツを楽しむ姿が見られた。

2023年4月22日





海外研修報告会

2023年4月24日

2023年3月に実施したベトナム海外研修に参加した12名により、研修で得た学びや交流内容について報告がなされた。



2023年5月27日	愛知医大解剖学見学実習 愛知医科大学の協力のもと、医師・歯科医師にしか認められていないご献体 の解剖についての実習見学を3年生が実施した。
2023年5月27日	留学生との交流 本学の1年生と立命館大学留学生22名が交流会を実施 当日は、留学生がファシリテータとなり、テーマにSDGs関連トピックを 提示し意見交換を行った。学生が自分の思いや意見を英語で伝えようと努 力する姿が見受けられた。
2023年6月3日	就職懇談会実施 4 年生向けに学友会主催の就職懇談会を開催し、先輩の話を聞いた。 その後大学病院、公的病院、一般病院、予防医学などに分かれて個別相談会も行った。
2023年7月29日	学友会主催のBBQ大会を実施 6月の就職懇談会終了後に開催しているBBQ大会について、4年生の臨床実習直前ということから、実習期間終了後の7月末に実施された。本BBQは、あずまや完成後初めての利用であることから、前理事長の中本氏にも参加いただいた。4年生は学友会の方から就職のアドバイスを受けながら、BBQを楽しんだ。
2023年9月1日~9月5日	ベトナムフエ薬科大学学生との交流 学術協定を調印しているフエ医科薬科大学より学生2名と引率教員を迎え、 交流を行った。
2023年9月8日	1day 仕事体験 (3 年生) 島津メディカルシステムズにて 1day 仕事体験を行った。 職場体験を通して幅広い視野や仕事の幅を広げることにつながっている。

島津製作所の見学(4年生)

コロナ禍後、4年ぶりに島津製作所の医用機器工場、メディカルセンター、サイエンスプラザの見学を実施した。

参加した4年生からは、臨床実習先で稼働していた装置について、積極的に質問している姿が見受けられた。

2023年9月8日





大瑠璃祭 (学園祭)

秋晴れに恵まれ卒業生や学友会だけでなく、近隣からも多くの方々が参加し、 賑いを見せた。

2023年10月28日





海外研修発表会

2023年11月13日

島津奨学金(学外活動奨学金)を利用して台湾研修に参加した学生による報告会を行った。参加した学生からは、次年度は自分も研修に参加したいなどの感想が寄せられた。



あずまやで BBQ

学友会のご支援による、BBQ大会を開催。コロナ禍で入学してきた学生たちに、コロナ期間を取り戻すための活動として実施。

2023年11月23日





【キャリア講座】 「求められる人になるための人間力アップ教室」の開催 『就活に役立つ~一緒に働きたくなる学生とは~』を主題として、2 年生が 2023年11月30日 受講した。参加した学生の感想からは、就活だけでなく、日常生活において も講座で教わった事を活かしていける場面が多々あると思ったので、活かし ていきたいと考えている。などの感想が寄せられた。 【キャリア講座】 「メイクアップ講座」の開催 2023年11月30日 人の印象は「視覚」が8割以上で あることなどを学び、医療従事者と してふさわしい身だしなみやメイ クを習った。 【キャリア講座】 「男性向けスキンケア講座」の開催 2023年12月4日 1年生の男子学生を対象に、病 院見学や実習時の立振る舞い、髪 型や身だしなみを学んだ。 【キャリア講座】 「着こなし講座」の開催 2023年12月7日 1年生の男子学生を対象に、ス ーツの選び方、着こなし方などに ついて学んだ。 クリスマス会の実施 ビンゴ大会を中心としたクリスマスイベントを実施した。多数の学生 が集まり、豪華賞品を当てるなどの場面では盛り上がりを見せた。 2023年12月20日

レントゲン祭に参加

株式会社島津製作所三条工場で開催された「レントゲン祭」に参加した。

2024年2月9日





本学の卒業生を中心に講演会を開催

2024年2月11日

「次世代の診療放射線技師に求められる組織的スキルと専門スキル」について、4人のシンポジストから、プレゼンが行われ、玉木学長による「診療放射線技師への期待」についての講演があった。



2024年3月9日

2023 年度 京都医療科学大学 学位授与式を挙行

79 名が卒業し一人一人に学位記が授与された。



4) 地域貢献

区分	内容	詳細
体験	勤労体験学習 地域貢献の一環で、11月10日、11日、園部中学の2年生4名の職場体験を受け入れた。	園部中学校 (11 月)

「地域ふれあいサイエンスフェスタ 2023」ブース参加 探求と創造をキーワードに 1997 年から行われている本イベント にブース参加を行っ た。当日はボランテ 亀岡市ガレ 体験 ィア学生7名と教職 リア(11月) 員が対応に当たっ た。 「京都光華高校」医療貢献コースの1年 生の受入 12月11日、昨年に引き続き、医療貢献コ 光華高校 体験 ースの1年生の大学見学を受け入れた。 (12月)

5) 学生募集活動

入試日程

区分	日程	会場		
総合入試	2023年10月21日	本学		
推薦入試	2023年11月18日	本学、大阪、名古屋		
社会人入試	2023年11月18日	本学		
一般前期	2024年1月27日	京都、大阪、名古屋、東京、福岡		
一般後期	2024年3月2日	本学		

オープンキャンパス開催日

開催日	参加者数
2023年3月18日	59 人
2023年5月28日	73 人
2023年6月18日	67 人
2023年7月8日	52 人
2023年7月9日	61 人

2023年8月5日	108 人
2023年8月6日	94 人
2023年8月26日	158 人
2023年10月1日	59 人
2023年12月16日	56 人
合計参加者	787 人

6) 外部資金の獲得状況

種類	研究課題名	区分	研究代表者
科研費	がんの放射線や免疫療法に伴う心血管障害の 画像評価に関する研究	基盤研究(C)	玉木長良
科研費	ペロブスカイト半導体による放射線検出器の 開発	基盤研究(C)	佐藤敏幸
科研費	空洞電離箱線量計における極性効果補正方法 の評価および改善	若手研究	霜村康平
科研費	深層学習による高解像マルチパラメトリック ASL の開発	若手研究	石田翔太
科研費	CBCT 画像ベースの装置との干渉を考慮したオンライン適応放射線治療システムの開発	基盤研究(C)	澤田晃
科研費	肺がん患者への迅速な診断・治療を実現する モレキュラーコンバーチブルプローブの開発	若手研究	屋木祐亮
受託研究	PET/CT 装置の画質評価のための解析ソフトの 検証研究	I	松本圭一
私学事業団	SNS 分析によるマンモグラフィ検診受診率低迷 の要因解明	_	桑原奈津美
特別寄付金	肺がんに対するラジオセラノスティクスを実 現するモレキュラーコンバーチブルプローブ の開発	武田科学振興 財団	屋木祐亮

7) FD·SD活動

	研修日	研修名称	主催
2023 年	4月26日	研究支援体制強化セミナー2023	株式会社エデュース

	私立学校法の改正に関する説明会(大臣所轄学	
2023年5月18日	松立子校伝の改正に関する説明云(八臣所轄子校法人向け)	文部科学省
2023年5月26日	私立学校法の改正と寄附行為の変更	公益社団法人私学経営 研究会
2023年6月2日	大学改革事例セミナー「女子大から総合大学に 変わる困難」京都橘学園	リクルート
2023年6月6日	令和 5 年度 企業内人権啓発推進員研修会・京 都府企業内人権問題啓発セミナー	
2023年6月8日	 理想の入学後教育を実現できる入学前教育 	進研アド
2023年6月9日	インボイス制度及び電子帳簿改正法に対するレ ーザーシステム対応紹介ウエブセミナー	グレープシティ
2023年6月14日	給与計算の基本実務セミナー	日本経営協会
2023年6月29日	シリーズ学術出版を学ぶ (26) -0A 時代の著作権―もう一度学ぼう オンライ ンセミナー	UniBio Press
2023年6月30日	令和5年度Active Academy研究会全体研修会	Active Academy 研究会
2023年7月11日	令和 5 年度 評価充実協議会	日本高等教育評価機構
2023年7月19日	発達障がい支援セミナー	大阪 YMCA
2023年7月23日	国家資格キャリアコンサルタント更新講習	合同会社働く楽しさ 研究所
2023年7月24日	私立学校法改正セミナー	デロイトトーマツ
2023年7月28日	医学系研究者コース	一般財団法人 公正研究推進協会
2023年8月1日	大学改革を巡る政策動向について	大和証券特定非営利活 動法人学校経理研究会
2023年8月1日	2022 年度 科研費申請支援講演会	エデュース株式会社 ロバスト・ジャパン 株式会社
2023年8月24日	学生募集広報のデジタルマーケティング実現	進研アド
2023年8月27日	国家資格キャリアコンサルタント更新講習 職場対応力・動機付け・キャリアプランニング研 修	(株)トータルバランス マネジメント
2023年6月20日~ 8月31日	大学広報オンラインセミナー2023 年度第一回	GKB48 事務局

		T
2023年9月7日	Between 学生募集広報セミナー「3 年後のポジションを確立する学生募集戦略」	進研アド
2023年9月7日	脱炭素+コスト削減! 太陽光発電オンサイト サービス 導入効果のご紹介	関西電力株式会社
2023年9月8日	最新 IT 教育事情を解説!情報教育の変化と今日からできるDX・IT 推進戦略(Zoom セミナー)	株式会社インソース
2023年9月20日	人事院勧告と私学の賃金問題講座	公益社団法人 私学経営研究会
2023年9月22日	大学のファシリティマネジメント	ビズアップ総研
2023年9月27日	大学図書館職員の専門職能開発研修 大学図書 館の現状と課題	ビズアップ総研
2023年9月27日	大学図書館職員の専門職能開発研修 大学新入 生の知的好奇心に火を点ける学修ガイダンス	ビズアップ総研
2023年9月30日	学校会計の研修会(基礎編)	Grape City
2023年10月1日	南丹市総合防災訓練	南丹市危機管理対策室
2023年10月4日	第27回(令和5年度)診療放射線技師臨床実習 指導者講習会	公益財団法人 医療研修推進財団
2023年10月6日	2023 年度 業務説明会	私立大学退職金財団
2023年10月11日	学校法人における内部監査の役割と進め方	一般社団法人 日本経営協会
2023年10月20日	医療・看護分野におけるシミュレーション教育 医学・看護教育における ICT を活用したシミュ レーション演習 (オンライン)	内田洋行 大学・高校 実践ソリューションセ ミナー2023
2023年10月26日	事例に学ぶ!研究支援の目標設定・計画・実施までのロードマップ	株式会社エデュース
2023年10月26日	2023 年第 2 回大学入試セミナー	KEI アドバンス
2023年10月28日	2023 年第 2 回大学入試セミナー	KEI アドバンス
2023年11月1日	キャンパス・教室の運用管理のDX化 codemari クラウドによる教室管理の活用事例 (オンライン)	内田洋行 大学・高校 実践ソリューションセ ミナー2023

2023年11月1日	Microsoft 365 包括契約の徹底活用 SharePoint で何ができる? (オンライン)	内田洋行 大学・高校 実践ソリューションセ ミナー2023
2023年11月14日	2023 年度 寄付行為・就業規則及び諸規程の作成と再検討	公益社団法人 私学経 営研究会
2023年11月17日	改正障害者差別解消法に係る説明会	内閣府
2023年11月21日	スマホを活用した学内ポータル 学生サービス 向上・コスト削減・連携強化を実現するポータル アプリによる同志社大学 DX の全貌 (オンライン)	内田洋行 大学・高校 実践ソリューションセ ミナー2023
2023年11月21日	CBT・生成 AI の活用 高等教育機関における CBT活用の可能性 ~世界標準 CBT プラットフォーム「TAO」の事例を通じて~ (オンライン)	内田洋行 大学・高校 実践ソリューションセ ミナー2023
2023年11月22日	BYOD を有効活用するためのキャンパスデザイン 関西学院大学が目指す DX 〜最先端技術を活用 したユーザー志向のキャンパスデザイン〜 (オ ンライン)	内田洋行 大学・高校 実践ソリューションセ ミナー2023
2023年11月28日	再検証・総合型選抜〜伸びる学生を増やす	進研アド・ベネッセ
2024年2月1日	発達障害に対する大学での支援〜大学・就職ま でに身につけておきたい力〜	大阪 YMCA
2024年2月13日	Between 大学経営シンポジウム「人口減下での大学経営と改革〜教育力で選ばれるための高大接続、組織、地域連携、文科施策活用とは?」	㈱進研アド Between シンポジウム運営本部
2024年3月9日	人生 100 年時代の パラレルキャリア講座	京都府生涯現役クリエ イティブセンター
2024年3月17日	キャリアコンサルタント更新講習 学生、若年層へのキャリアコンサルティング実 践トレーニング	株式会社リバース

8) 寄付の状況

2023年3月末現在

寄付区分		件数	金額
現金寄付	一般寄付金	24 件	1,000,000円
	特別寄付金	3 件	2, 679, 000 円

9) 島津基金運用状況

2022 年 3 月に株式会社島津製作所様より、株式(株式時価 948, 884, 784 円)をご寄付いただき、島津基金を設置した。

島津基金は、奨学金の給付および教育研究施設・設備等の充実により、学校法人島津学園 京都医療科学大学学生の勉学を助成し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為な人材の育 成に資することを目的とする。

島津基金を、第3号基本金に組み入れ、同号の基本金引当資産として管理運用した結果、2023年度の配当金は 30,325,888円であった。

配当金は、島津奨学金として次の通り運用した。(合計 22,301,106円を支出)

1. 特待新入生奨学金 2,250,000 円

2. 特待生奨学金 8,555,000円

3. 資格取得奨励奨学金 2,557,490円

4. 就職活動支援給付金 345,000 円

5. 経済支援奨学金 2,850,000円

6. 海外交流奨学金 4,270,103円

7. 学修支援金 652,400 円

8. 教育改革支援金 821,113 円

10) 施設等の状況

(1) 土地

種別	所在地	面積	備考
校地	京都府南丹市園部町小山東町今北1番3	20, 640 m²	

(2)建物

種別	構造	面積	備考
本館	鉄筋コンクリート造5階建	3, 179. 32 m²	内未登記 (66.51 ㎡)
校舎 (1 号館)	鉄筋コンクリート造3階建	7, 262. 33 m²	
校舎 (2 号館)	鉄筋コンクリート・鉄骨造り5階建	1, 202. 33 III	
ボンベ庫	ストレート葺ブロック造平屋建	4. 00 m ²	
屋外学生休息施設	鉄骨造	23. 10 m²	未登記
	合計	10, 468. 75 m²	

財務比率の推移

5 カ年連続財務比率表を下記に掲載する。

(1) 貸借対照表関係比率

単位%

比率名	算出方法	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	全国平均 *1	自己評価 *2
固定資産構成比率	固定資産総資産	76. 59	76. 90	79. 12	76. 89	76. 3	83. 3	\sim
有形固定資産構成比 率	有形固定資産 総資産	73.80	73. 94	55. 90	53. 86	52. 71	62. 1	~
特定資産構成比率	特定資産 総資産	2.02	2. 18	22. 77	22. 67	23. 32	16. 4	0
流動資産構成比率	流動資産 総資産	23. 41	23. 10	20.88	23. 11	23. 7	16. 7	0
固定負債構成比率	固定負債 総負債+純資産	2. 16	2.22	1.87	1.89	2. 02	3. 4	0
流動負債構成比率	流動負債 総負債+純資産	8. 79	6.03	4.82	4. 88	4. 59	5. 0	~
内部留保資産比率	運用資産一総負債 総資産	14. 12	16. 33	36. 76	38. 36	39. 99	27. 0	0
運用資産余裕比率	運用資産-外部負債 経常支出	107. 31	97. 16	245. 12	250.88	235. 1	1. 9	0
純資産構成比率	純資産 総負債+純資産	89. 05	91. 75	93. 32	93. 23	93. 39	91. 6	~
繰越収支差額構成比 率	繰越収支差額 総負債+純資産	-22.00	-25. 96	-20. 21	-21.02	-23. 68	-21.0	~
固定比率	固定資産 純資産	86. 01	83. 81	84. 79	82. 48	79. 96	90. 9	0
固定長期適合率	固定資産 純資産+固定負債	83. 97	81.83	83. 12	80. 84	79. 96	87. 7	0
流動比率	流動資産 流動負債	266. 23	383. 16	433. 63	473.66	516. 61	333. 3	0
総負債比率	総負債 総資産	10. 95	8. 25	6. 68	6. 77	6. 61	8. 4	\sim
負債比率	総負債 純資産	12. 30	8.99	7. 16	7. 26	7. 07	9. 2	\sim
前受金保有率	現金預金 前受金	395. 42	490. 24	505. 39	535. 58	627. 94	472. 2	0
退職給与引当特定資 産保有率	退職給与引当特定資産 退職給与引当金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	54. 5	0
基本金比率	基本金 基本金要組入額	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	99. 3	~
減価償却比率	減価償却累計額 (図書除く) 減価償却資産取得価格	39. 19	41.70	43. 33	48. 11	49. 66	55. 9	~
積立率	運用資産 要積立額	63. 54	55. 70	74. 88	74. 15	74. 56	68. 7	~

(2) 事業活動収支計算書関係比率

単位%

比率名	算出方法	2019年 度	2020 年 度	2021 年 度	2022 年 度	2023 年 度	全国平均*1	自 己 評 価 *2
人件費比率	人件費	53. 24	52.64	22. 29	47. 15	51.64	58. 1	~
	経常収入							, 0
人件費依存率	人件費	64. 92	67. 40	61.78	59. 95	64. 27	92. 3	0
	学生生徒等納付金						92. 3	O
教育研究経費比率	教育研究経費	39. 46	43. 43	17. 99	41. 41	47. 22	39. 0	~
	経常収入							
管理経費比率	管理経費	14. 11	13. 54	5. 92	13. 13	13. 96	13. 1	~
	経常収入							
借入金等利息比率	借入金等利息	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 1	~
	経常収入							
事業活動収支差 額比率	基本金組入前当年度収支	-5. 36	6. 11	55. 17	2. 57	-12. 73	-13. 7	
	差額 事業活動収入							~
基本金組入後収 支比率	事業活動支出	105. 36	118. 17	99. 28	105. 53	112. 73		
	事業活動収入-基本金組入						120. 6	~
	額							
学生生徒等納付 金比率	学生生徒等納付金	82. 01	78. 11	36. 08	78. 65	80. 35	62. 9	0
	経常収入							
寄附金比率	寄附金	8. 42	15. 71	57. 98	4. 21	0.48	11. 1	^
	事業活動収入							Δ
経常寄附金比率	教育活動収支の寄附金	4. 13	3. 56	57. 14	0.62	0. 47	10.6	Δ
	経常収入							
補助金比率	補助金	9. 99	13.84	5. 35	11. 08	12.40	12. 9	~
	事業活動収入						12. 9	
経常補助金比率	教育活動収支の補助金	10. 47	14. 29	5. 44	11. 56	12. 41	13. 0	~
	経常収入						15.0	
基本金組入率	基本金組入額	0.00	20. 55	54.85	7. 67	0.00	5. 7	~
	事業活動収入							
減価償却額比率	減価償却額	19. 35	17. 51	19. 51	18. 10	16. 66	12. 0	~
	経常支出						12.0	
経常収支差額比 率	経常収支差額	-6. 81	-9. 61	53.80	-1. 69	-12. 82	-10.5	~
	経常収入						10. 0	
教育活動収支差 額比率	教育活動収支差額	-6. 82	-9. 62	53. 80	-5. 84	-17. 47	-14. 7	~
	教育活動収入計							

*1 全国平均:日本私立学校振興・共済事業団発行「今日の私学財政 2022 年度版」を引用

*2 「自己評価」欄の説明:

○ 全国平均と比べて優れている △ 全国平均と比べて劣っている ~どちらともいえない

2021年度は株式寄付の影響で数値が大きく変動しているが、寄付が単年度のみに影響する財務比率については過去の推移により評価を行っている

教員研究業績

- (1) 原著論文
- 1. 大野 和子:放射線防護の基礎知識,心臓,2024,56,232-235
- 2. Ohnishi A, Akamatsu G, Ikari Y, Nishida H, Shimizu K, <u>Matsumoto K</u>, Aita K, Sasaki M, Yamamoto Y, Yamane T, Senda M: Dosimetry and efficacy of a tau PET tracer [18F]MK-6240 in Japanese healthy elderly and patients with Alzheimer's disease, Ann Nucl Med, 2023, 37(2), 108-120
- 3. Furukawa T, Kimura H, Sasaki M, Yamada T, Iwasawa T, <u>Yagi Y</u>, Kato K, Yasui H:
 Novel [111In]In-BnDTPA- EphA2-230-1 Antibody for Single-Photon Emission
 Computed Tomography Imaging Tracer Targeting of EphA2, ACS Omega, 2023, 8
 (7),7030-7035
- 4. Kondo Y, Kimura H, Sasaki M, Koike S, <u>Yagi Y</u>, Hattori Y, Kawashima H, Yasui H: Effect of Water on Direct Radioiodination of Small Molecules/Peptides Using Copper-Mediated Iododeboronation in Water-Alcohol Solvent, ACS Omega, 2023, 8 (27), 24418-24425
- 5. Omokawa M, Kimura H, Arimitsu K, <u>Yagi Y</u>, Hattori Y, Kawashima H, Naito Y, Yasui H: Synthesis and Biological Evaluation of a Novel Sugar-Conjugated Platinum(II) Complex Having a Tumor-Targeting Effect, ACS Omega, 2023, 9 (1), 879-886
- 6. Omokawa M, Kimura H, Hatsukawa Y, Kawashima H, Tsukada K, <u>Yagi Y</u>, Naito Y, Yasui H: Production and synthesis of a novel 191Pt-labeled platinum complex and evaluation of its biodistribution in healthy mice, Bioorganic & Medicinal Chemistry, 2023, 97, 117557
- 山内貴寬, 石田翔太, 松田祐貴, 金本雅之, 萩原峻太, 月輪悠, 梅田秀人, 芝池由規, 木戸口正宗, 川尻智士, 山田真輔, 磯崎誠, 有島英孝, 小寺俊昭, 木村浩彦, 北井隆平,

菊田健一: 膠芽腫の治療経過において APT imaging をどう用いるべきか, Ci 研究, 2023, 44, 135-145

- 8. Kenji Takata, Hirohiko Kimura, <u>Shota Ishida</u>, Makoto Isozaki, Yoshifumi Higashino, Ken-Ichiro Kikuta, Hidehiko Okazawa, Tetsuya Tsujikawa, Assessment of Arterial Transit Time and Cerebrovascular Reactivity in Moyamoya Disease by Simultaneous PET/MRI, Diagnostics, 2023, doi:10.3390/diagnostics13040756
- 9. Kumi Ozaki, Takashi Ohtani, <u>Shota Ishida</u>, Shohei Higuchi, Tomokazu Ishida, Kouki Takahashi, Yuki Matta, Hirohiko KImura, Toshifumi Gabata: Extracellular volume fraction obtained by dual-energy CT depicting the etiological differences of liver fibrosis, Abdominal radiology, 2023, 48(6), 1975-1986
- 10. Kumi Ozaki, Takashi Ohtani, Tomokazu Ishida, Kouki Taknahashi, <u>Shota Ishida</u>, Kenji Takata, Toyohiko Sakai, Shohei Higuchi, Toshifumi Gabata: Liver Fibrosis Estimated Using Extracellular Volume Fraction Obtained from Dual-energy CT as a Risk Factor for Hepatocellular Carcinoma After Sustained Virologic Response: A preliminary Case-control Study, European Journal of Radiology, 2023, 169, 111112
- 11. <u>Shota Ishida</u>, Makoto Isozaki, Yasuhiro Fujiwara, Naoyuki Takei, Masayuki Kanamoto, Hirohiko Kimura, Tetsuya Tsujikawa: Effects of the Training Data Condition on Arterial Spin Labeling Parameter Estimation Using a Simulation-Based Supervised Deep Neural Network, Journal of Computer Assisted Tomography, 2023, doi:10.1097/RCT.00000000000001566
 - (2) 著書・報告集など
- 12. <u>大野和子</u> (編集:吉村真由美):医療における放射線利用,放射線と生き物,北隆 館,2023,1,274-284
- 13. 長畑智政、菊地透、小林剛、坂本肇、作田裕美、大高祐聖、藤淵俊王、山口一郎(編集 担当: <u>大野和子</u>), 医療領域の放射線管理マニュアル改訂 6, 医療放射線防護連絡協議 会, 2023

- 14. <u>田畑慶人</u>, 小田敍弘: 3 次元画像の可視化, 新医用放射線科学講座 医療画像情報工学 第 2 版, 医歯薬出版株式会社, 2023, 108-114
- 15. <u>赤澤博之</u>, 笠井俊文:診療画像機器学, 診療放射線技師国家試験 完全対策問題集 2024 年版, オーム社, 2023, 18~68, 428~470
- 16. <u>**屋木祐亮**</u>:1章 放射化学, 2024 年版 診療放射線技師国家試験 完全問題集, オーム 社, 2023
- 17. <u>石田翔太</u>,藤原康博,木村浩彦:,Arterial spin labeling による脳血流定量の最新動向, 月刊インナービジョン,株式会社インナービジョン,2023

(3) 国際会議発表

- 18. <u>Kazuko Ohno</u>, M. Kajisako: How Can Nuclear Physicians Mitigate the Patient's Fear of Medical Radiation Exposure? -Lessons Learned from Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Accident -, 欧州核医学会, 2023. 9.11, ウィーン国際会議場
- 19. <u>Matsumoto K</u>, Daisaki H, Yoshida S, Nishida K, Tamaki N: Development of phantom analysis software package for Japanese Society of Nuclear Medicine PET imaging site qualification program, 36th Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine, 2023. 9, Vienna
- 20. <u>Yamamoto M</u>: Impact from Cross-cultural exchange between international and Japanese students, The 7th UHAMKA International Conference on CALL and ELT, 2023. 12, Jakarta, Indonesia
- 21. <u>Takayuki Mototani</u>, Tadamasa Takemura: Basic Research on Distributed Electronic Medical Records, IEEE EMBC, 2023. 7, オーストラリア
- 22. <u>Yagi Y</u>, Kimura H, Ando M, Kawaguchi K, Sato A, Shimizu A, Fujimura M, Higuchi T: Expanding the Versatility of F-18 Indirect Labeling: Optimizing the Synthesis of TDBFB Boronic Acid Derivatives for Indirect Labeling via Suzuki Coupling, European Association of Nuclear Medicine, 36rd Annual EANM Congress, 2023. 9, Vienna

- 23. <u>Ishida S</u>, Fujiwara Y, Takei N, Matta Y, Kanamoto M, Kimura H, Tsujikawa T: Multiparameter estimation from DANTE-prepared multi-delay ASL using artificial neural network, 2023 ISMRM & ISMRT Annual Meeting & Exhibition, 2023. 6, Toronto
- 24. Obara M, Togao O, Vaclavu L, Mikayama R, Wada T, <u>Ishida S</u>, Hamano H, van Osch MJ, van de Ven K, Ueda Y, Kwon J, Yoneyama M, Van Cauteren M: Comparison of a hybrid multi-delay pseudo-continuous arterial spin labelling scheme with time-encoded and variable-TR schemes, 2024 ISMRM & ISMRT Annual Meeting & Exhibition, 2023. 6, Toronto
- 25. Kimura H, Isozaki M, <u>Ishida S</u>, Takei N, Fujiwara Y, Matta Y, Okazawa H, Tsujikawa T: The validation of ASL-aCBV measured by Hadamard encoded ASL imaging evaluating moyamoya disease correlative study with 150-H20 PET-aCBV, 2025 ISMRM & ISMRT Annual Meeting & Exhibition, 2023. 6, Toronto
- 26. Togao O, Obara M, Yamashita K, Kikuchi K, Wada T, Tokunaga C, Mikayama R, Ishida S, Hamano H, Vaclavu L, van Osch MJ, van de Ven K, Van Cauteren M, Ishigami K: Hybrid multi-delay PCASL of time-encoded and variable-TR schemes for the assessment of cerebral perfusion in Moyamoya disease, 2026 ISMRM & ISMRT Annual Meeting & Exhibition, 2023. 6, Toronto
- 27. <u>Ishida S</u>, Yasuhiro Fujiwara, Naoyuki Takei, Hirohiko Kimura, Tatsuya Tsujikawa: Comparison of supervised and physics-informed unsupervised deep neural networks for parameter estimation from multi-delay arterial spin labeling, The 8th Annual Scientific Meeting of the ISMRM Japanese Chapter, 2023. 9, Nagano

(4) 国内会議発表

- 28. <u>大野和子</u>, 緒方良至: 放射線教育フォーラムのコロナ禍での取り組み, 第 60 回 日本アイ ソトープ協会・放射線研究発表会, 2023. 7. 7, 日本科学未来館
- 29. <u>大野和子</u>: 教育講演・IVR 患者被ばく低減策について, 第82回日本医学放射線学会総会, 2023. 4. 16, 国立大ホール
- 30. <u>大野和子</u>: 医療分野における放射線業務従事者の放射線管理,第82回日本医学放射線学会総会,2023.4.16,会議センター

- 31. <u>大野和子</u>: 患者との情報共有,第75回、第76回医療放射線安全管理講習会,2023.10.14,2023.11.11,web 開催
- 32. <u>大野和子</u>, 池田晴, 大原桃子, 藤本しおり, 板垣隆治, 三宅可奈江: 乳房専用 PET 検査における肝臓集積の画像への影響-18F-FES の使用を想定した検討-, 日本核医学会第95回中部地方会, 2023. 2.11, くわなメデイアライブ
- 33. <u>大野和子</u>: 第34回医療放射線防護連絡協議会年次大会, 2023. 12. 08, 千代田テクノル本社 ビル
- 34. <u>石田翔太</u>,藤原康博,竹井直行,松田祐貴,金本雅行,木村浩彦,辻川哲也:DANTE-ASL によるマルチパラメータ推定用ニューラルネットワークの開発,第51回日本磁気共鳴医学会大会,2023.9,軽井沢プリンスホテル
- 35. <u>松本圭一</u>, 渡部浩司, 坂本攝, 志賀哲, 伊藤浩: PET 撮像施設認証制度におけるアミロイドイメージング剤一括評価の妥当性, 第63回日本核医学会学術総会, 2023. 11, グランフロント大阪
- 36. <u>松本圭一</u>, 清水敬二, 大政亘, 赤松剛, 井狩彌彦, 佐々木將博, 福井達也, 千田道雄, 山根登茂彦: 150-ガスを用いた脳循環代謝の定量測定における誤差要因の評価, 第 63 回日本核医学会学術総会, 2023. 11, グランフロント大阪
- 37. 清水敬二, <u>松本圭一</u>, 大政亘, 赤松剛, 井狩彌彦, 福井達也, 佐々木將博, 千田道雄, 山根登茂彦: 高感度全身用 PET/CT 装置を用いた 0-15gas 検査の妥当性-ファントム実験による検討-, 第63回日本核医学会学術総会, 2023. 11, グランフロント大阪
- 38. 大政亘, <u>松本圭一</u>, 清水敬二, 赤松剛, 井狩彌彦, 福井達也, 佐々木將博, 千田道雄, 山根登茂彦: 高感度型 BGO シンチレータ搭載全身用 PET/CT 装置を用いた 150 ガス PET の脳血流量評価—123I-IMP 脳血流 SPECT との比較—, 第 43 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2023. 11, グランフロント大阪,
- 39. **水田正芳**, 新居健: 大腿骨頭壊死の重症度と骨シンチ診断支援ソフトの検出能の関係について, 第39回日本診療放射線技師学術大会, 2023. 9, 熊本城ホール
- 40. 水田正芳, 田畑梓: FDG-PET における全身ダイナミック収集を用いた SUV の動態解析について, 第39回日本診療放射線技師学術大会, 2023. 9, 熊本城ホール
- 41. <u>水田正芳</u>, 徳満理晋: 心筋動態ファントムを用いた PET と SPECT の心機能指標の比較, 第39回日本診療放射線技師学術大会, 2023. 9, 熊本城ホール

- 42. <u>佐藤敏幸</u>, 上門美遥, 岡本侑里香, 齋藤凪沙, 白木芙美, 古川悠希: 晶析法で作成した放射線 検出器用ペロブスカイト膜の特性評価, 第84回応用物理学会秋季学術講演会, 2023. 9, 熊本 城ホール
- 43. **屋木祐亮**, 木村寛之, 樋口隆: 鈴木カップリング反応を用いた F-18 間接標識用試薬ボロン酸誘導体[18F] TDBFB の合成検討, 日本薬学会第 143 年会, 2023. 3, 北海道大学
- 44. 平塚真之輔, <u>石田翔太</u>, 吉村雅寛, 渡邉嘉之:流体ファントムにおける IVIM 解析, 第6回脳 循環数理モデル研究会, 2023. 3, 名古屋市立大学病院
- 45. 宮地利明, 宮地利明, 大野直樹, 岡本里穂, 上原正知, <u>石田翔太</u>, Noam Alperin, 間瀬光人: MRI による体位変化時の髄液動態解析, 京都髄液フォーラム 2023, 2023. 8
- 46. <u>石田翔太</u>,藤原康博,竹井直行,松田祐貴,金本雅行,木村浩彦,辻川哲也:DANTE-ASL によるマルチパラメータ推定用ニューラルネットワークの開発,第51回日本磁気共鳴医学会大会,2023.9,軽井沢プリンスホテル
- 47. 松田祐貴, <u>石田翔太</u>, 金本雅行, 立石敏樹, 木村浩彦, 辻川哲也: DANTE-ASL による arterial CBV イメージングの再現性, 第 5 1 回日本磁気共鳴医学会大会, 2023. 9, 軽井沢プリンスホテル
- 48. 小原真, 小原真, 栂尾理, 三賀山諒司, 和田達弘, <u>石田翔太</u>, 濱野裕, 上田優, 権池勲, 米山正己, Marc Van Cauteren: 高速ハイブリッドダイナミック pCASL 検査の妥当性 ダイナミック を 6 と 12 の比較, 第 51 回 日本磁気共鳴医学会大会, 2023. 9, 軽井沢プリンスホテル
- 49. 栂尾理, 小原真, 山下孝二, 菊池一史, 和田達弘, 徳永千晶, 三賀山諒司, <u>石田翔太</u>: Marc Van Cauteren 石神康生: Time-encoded 法と variable-TR 法のハイブリッド multi-delay PCASL によるもやもや病の血流評価, 第51回日本磁気共鳴医学会大会, 2023. 9, 軽井沢プリンスホテル
- 50. **富髙智成**, 中田英利子, 富高智成, 向居暁, 清水寛之: 自己と他者における失敗エピソードの記憶(14) 失敗直後と現在における感情語の比較検討に基づく失敗の捉え直し, 日本発達心理学会第34回大会, 2023. 3, 立命館大学大阪いばらきキャンパス
- 51. **富髙智成**,中田英利子,向居暁,清水寛之:自己と他者における失敗エピソードの記憶(15) 対応分析を用いた失敗の捉え直しに関する検討,日本発達心理学会第34回大会,2023.3, 立命館大学大阪いばらきキャンパス
- 52. 中田英利子, **富高智成**, 向居暁, 清水寛之: 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (16) 一失敗の生起頻度, 統制感, 時間的展望からみた失敗の捉え直しに関する検討―,日本教育心理学会第65回総会, 2023. 8~9, Web 開催

- 53. 中田英利子, 向居暁, **富高智成**, 清水寛之: 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (17) 一行為者と社会との関係に基づく失敗の教訓に関する検討―, 日本心理学会第 87 回大会, 2023. 9, 神戸国際会議場・神戸国際展示場+Web (ハイブリッド)
- 54. 向居暁,中田英利子, **富高智成**, 清水寛之: 自己と他者における失敗エピソードの記憶(18) 一失敗の教訓に関する対応分析を用いた検討一, 日本心理学会第87回大会, 2023. 9, 神戸国際会議場・神戸国際展示場+Web (ハイブリッド)
- 55. **富髙智成**, 廣井寧々, 中村心優, 辻朱音, 霜澤玲花, 絹傘葵, 豊田弘司: 大学生における自己愛的脆弱性と恋愛感情の関係,日本心理学会第87回大会, 2023. 9, 神戸国際会議場・神戸国際展示場+Web (ハイブリッド)

(5) 講演

- 56. <u>大野和子</u>: タスクシフトシェアをふまえた今後の医療を考える〜技師法改正も含め〜, 公益社団法人京都府診療放射線技師会創立 7 5 周年記念式典, 京都ブライトンホテル, 2023. 11. 19
- 57. <u>大野和子</u>: 診療用放射線安全管理の実践にあたって,日本医療機能評価機構医療安全管理 者養成研修修了者向け研修,web 開催,2023. 4.27
- 58. <u>大野和子</u>: 医療スタッフの放射線安全管理の最近の動向, 令和5年度 放射性同位元素取 扱者のための登録者教育訓練, 京都大学医学部附属病院, 2023. 7. 25
- 59. <u>大野和子</u>: 放射線及び原子力防災に関する基礎的な知識等について, 令和 5 年度京都市原子力防災訓練, 元京北第三小学校, 2023. 11. 11
- 60. <u>大野和子</u>: 医療被ばく管理の基本について, 令和 4 年度医療被ばく安全管理研修会, 青森県立中央病院, 2023. 3. 10
- 61. <u>赤澤博之</u>:電離箱式サーベイメータ比較校正実習, 兵庫県放射線技師会, 京都医療科学大学, 2023.8
- 62. <u>赤澤博之</u>:線量測定器校正に関する講習会ならびに校正実習,滋賀県診療放射線技師会,京都医療科学大学,2023.8

- 63. 赤澤博之:線量計校正研修会,京都府診療放射線技師会,京都医療科学大学,2023.9,
 - (6) その他

【受賞】

- 64. <u>森正人</u>: 石垣陸太, 夜久英樹, 森正人, 田畑慶人: 2023 年度グッドデザイン賞, 医療被ばく線量管理システム onti, 公益財団法人日本デザイン振興会, 10, 東京ミッドタウン,
- 65. **屋木祐亮**: 医学系研究助成(がん領域(基礎)), 課題名: 「肺がんに対するラジオセラ ノスティクスを実現するモレキュラーコンバーチブルプロ―ブの開発」, 公益財団法人 武田科学振興財団, 11, シェラトン都ホテル東京
- 66. **桑原奈津美**:技術新人賞 撮影分野(一般撮影),画像再構成法が集簇性石灰化に対するディジタル乳房トモシンセシスガイド下吸引式組織生検に与える影響,公益社団法人 日本放射線技術学会,4,パシフィコ横浜,
- 67. <u>桑原奈津美</u>: 若手・女性研究者奨励金贈呈, SNS 分析によるマンモグラフィ検診受診率低 迷の要因解明, 日本私立学校振興・共済事業団, 5, 東京ガーデンパレス,

【特許】

68. <u>本谷崇之</u>: 産業財産権 特開 2023-055689 ウェブブラウザ、クライアント、情報閲覧支援システム、および情報閲覧支援方

法, https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=202303010295358557,,,,,

69. <u>本谷崇之</u>:産業財産権 特開 2022-138831 ウェブブラウザ、クライアント、情報閲覧支援 システム、および情報閲覧支援方

法, https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=202203019305099288,,,,,